



記者手帳

ある病院の廃棄物担当者に話を

聞く機会があった。それまで使用してい

た紙マニフェストから電子マニフェストに切り替えたことで委託していた処理業者もほかの処理業者に変えた。理由は大きく二つ。その処理業者が電子マニフェストに対応できなかったこと、追跡監視

という「よりの安心安全」を高める機能への対応ができなかったことである。

病院の担当者が電子マニフェストに切り替えた背景には事

上、紙マニフェストを点検するうち、記入された数量が合わ

ず、委託していた処理業者が信頼できなくなったという事情もあった。不

誠実な処理をされたと受け止めたよ

慎重に対処すべきだったと思う。

処理業者の中には排出者へのサービスとして紙マニフェストの報告書作成をサポートするケースも

あるという。排出者責任の原則からみればマニフェストの管

ないのが処理業者の立場でもある。

ある処理業者が「行政は処理業者だけでなく、排出側も指導して欲しい」と訴えていたが、排出

者責任の強化・徹底は時代の要請なのか

委託先を変えた理由

務作業の煩雑さがあ

った。担当者は自分で報告書を作成して

あまりの大変さに音を上げたという。そ

こで、電子マニフェストにすれば多少はこの作業から解放される

この処理業者が、追跡監視システムに

ついて排出者から対応して欲しいといわ

れ、煩雑と思ったかどうか不明だが、「よ

り安心安全」な処理に消極的と受け止められたようだ。委託先を変えられる前に

理を他人任せにするような行為は、その

認識を問う声が出そう

うだ。とはいえ、排出者にとってマニフェストの管理や集計

は面倒な作業である。処理業者に頼みたくない、また排出者に頼まれたら断れ

蛇足ながら、処理業者が紙マニフェストの集計をサポートす

るとなると、電子マニフェストの導入メ

リットである事務作業の効率化効果はう

すれる。こうしたことが広がると、電子マニフェストの普及にマイナスになりかねず、心配である。

(文)